

わーがわー



第4回定例会

決まったこと 26年度補正予算 >>> P.2

専決処分・条例改正等

主な質疑 >>> P.4

一般質問 4人が町政を問う >>> P.5

委員会報告 総務厚生常任委員会 >>> P.10

産業常任委員会

まちの元気 卓球クラブ >>> P.12

かぜや寒さを
吹き飛ばせ

(和東小学校なわとび大会)

平成26年度
補正予算

一般・特別各会計で 1億1750万円を補正

第4回定例会は、12月10日から19日までの10日間の会期で開催されました。町長から出された平成26年度一般会計・特別会計の補正予算や条例の制定・一部改正、工事の請負契約の締結、衆議院議員選挙関連予算の専決処分の承認など15議案の他、議員の意見書3件を審議しました。

審議の結果、町長から出された15議案はすべて原案どおり可決し、議員発議の意見書は1件が可決、2件が賛成者少数で否決されました。

災害復旧や道路新設改良等で9500万円 一般会計補正予算(第5号)

補正予算の主なものは、平成26年8月8日から10日に発生した台風11号豪雨災害による災害復旧事業や町道山口線拡幅改良工事に伴う建物移転補償を含む道路の維持・改良事業費。奈良交通の路線バス運行維持に係る補助金の追加や国民健康保険基盤安定等繰出金の追加、その他人事院勧告に伴う職員の人件費等を含めて合計で9500万円が補正され、一般会計の予算総額は、36億5485万円となりました。

新規事業としては、農地台帳公表に向けた農地台帳システム改修事業や湯船地区の茶

工場を中心とした重要伝統的建造物群保存地区の登録事業、湯船森林公園内に予定されているバイオトイレの設置などが新たに追加され、昨年7月の農業委員会委員選挙の無投票による精算や農地の維持に係る多面的機能支払補助金がそれぞれ減額されました。

主なもの

災害復旧費	387万円
農地	387万円
道路橋梁施設	1435万円
河川	339万円
道路維持・新設改良	2144万円

公用自動車(ダンプカー)購入 400万円

交通対策費(路線バス運行維持補助金) 931万円

国保基盤安定等繰出金 1093万円

農地台帳システム改修業務委託 183万円

重要伝統的建造物群保存地区保存事業委託 80万円

バイオトイレ購入費 626万円

人事院勧告に伴う職員の人件費 414万円

療養給付費を増額

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

事業勘定では、一般被保険者療養給付費や高額療養費の増額により1397万円を追加上して総額8928万円に。

直営診療施設勘定では、診療収入の減少と人事院勧告に伴う職員の人件費により35万円を減額して総額8928万円に。



最終沈澱池(和東中央浄化センター)

水道メーター交換業務や 水道緊急修理費用を追加

簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

計量法に基づく水道メーター交換業務費用と量水器取替用材料費及び水道緊急修理と人事院勧告に伴う職員の人件費により325万円を追加上して総額1億7883万円に。

最終沈澱池の修理等

下水道事業特別会計補正予算(第2号)

下水処理場最終沈澱池の修繕費と人事院勧告に伴う職員の人件費により90万円を追加上して総額1億9570万円に。

介護サービス給付費等の追加

介護保険特別会計補正予算（第2号）

事業勘定では、施設介護サービス給付費や特定入所者介護サービス給付費等の増減により410万円を追加し総額5億7380万円に。

介護サービス事業勘定では、要支援認定者の増加等に伴う介護予防計画委託料の増額により28万円を追加し総額286万円に。

専決処分の承認

一般会計補正予算（第4号専決）

第47回衆議院議員総選挙及び第23回最高裁判所裁判官国民審査の執行に伴い726万円を補正。

条例改正等

平成27年4月から始まる子ども子育て支援新制度のため施設や運営基準等を3つの条例で新たに定めました。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

幼稚園や保育所、認定こども園



保育園で遊ぶ子どもたち

及び19人以下の小規模保育などの運営に関する基準を定めたものです。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

利用定員5人以下の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めたものです。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

国のガイドラインを参考としていた放課後児童クラブの基準を市町村の条例で定めたものです。

給与等の改正

和東町職員の給与に関する条例の

一部改正

国家公務員への人事院勧告を準用し、和東町職員の給与等を改正するものです。

法律改正による条項整理

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

次世代育成支援対策推進法等の改正に伴い関係条例の文言等が整理されました。

出産育児一時金40万4千円に

国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の改正に伴う条例変更で、出産育児一時金の金額を39万円から40万4千円に改めるものです。

農災工事3件を議決

土地改良事業の施行について（災害復旧）

平成26年8月8日～10日発生 of 台風11号豪雨災害における農地・農業用施設災害復旧工事3件、379万円を土地改良法の規定により議決しました。

車の損傷へ損害賠償

損害賠償の額を定めることについて

町営住宅前の側溝で発生した自動車損傷事故に対する損害賠償を

議決したものです。

請負契約の締結

町道山口線(原山地区)拡幅改良工事(2工区)請負契約の締結

工事の請負契約額が5千万円を超えたので議会の議決を必要としたものです。

契約 57,359,880円

京和・井上・岡田建設工事共同企業体

第1回臨時会

町道山口線拡幅改良工事1工区請負契約の変更を可決

平成26年和東町議会第1回臨時会が10月28日に開かれ、工事請負契約の変更を審議しました。

内容は安全対策としてガードレール設置を追加するもので、契約金額を320万7600円増の6163万5600円に、工期を1カ月延長の平成26年11月28日にいずれも変更するものです。

景観条例の制定は 補正予算 主な質疑

問 バイオトイレ購入費
626万円はスポーツ
観光聖地づくりという
補助金を利用される
が、その規模と利用方
法について説明を。

答 農村振興課長

湯船森林公園に2基
設置する予定。チップ
を入れバクテリア等で
処理。多人数に対応で
きる。

それぞれの箇所です画的に
進めていく。

問

青年就農給付金事業
負担金225万円の補
正の必要性について説
明を。

答 農村振興課長

和東町で土地取得を
し、利用貸借され新規
就農の条件がそろい、
3名の方が後期分1人
75万円を受けられる。

問

重要伝統的建造物群
保存地区保存事業委託
料とは。

答 農村振興課長

湯船地内にある茶文
化の文化的景観で工場
等を府立大学の2人の

先生が調査に
入っておられ、
文化庁に報告
書を提出する
ため府と府立
大学に策定を
委託するも
の。

問

簡易水道特
別会計の修繕
費100万円の
用途につい
て

答 建設事業課長

和東中央浄水場の方
へ状況伝達の機器、テ
レメーター、信号等が
長期使用により老朽化
し、そのため交換の修
理をしている。

問

白栖、石寺の西部水
源は老朽化している
が、今後の計画はどうか。

答 町長

今、京都府と統合と
いう方向で協議を進め
ている。



伝統的建造物群を調査(湯船地区)

問

路線バス運行維持補
助金931万円補正さ
れているが路線バスの
維持を含め今後どうい
う方向で議論し検討を
具体化するのか。

答 総務課長

補助金は路線バスの
乗車人数が減ったこと
に係る増額であり、今
後については懇話会
(交通手段確保に関す
る懇話会)等での協議
に至っていない。

各議員の賛否

平成26年第4回定例会(12月)に、町長から提案された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名											
			岡田泰正	吉田哲也	畑 武志	前出 茂	岡本正意	竹内きみ代	岩崎宗雄	小西 啓	山口勝己	籠島孝幸		
可決	本	平成26年度和東町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-
可決	本	平成26年度和東町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-
可決	本	平成26年度和東町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-
可決	本	平成26年度和東町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-
可決	本	平成26年度和東町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-
可決	本	和東町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	退	-
可決	本	和東町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	退	-
可決	本	和東町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-

※会議区分 本は本会議 ・○は賛成 ・×は反対 ・欠は欠席 ・退は退席 ・-は議長(籠島孝幸議長は採決に加わらない。)

町政を問う

4人が一般質問

問

子育て家族負担軽減のため
保育園での完全給食を

答

完全給食化、来年度から
実施する方向で指示



岩崎 宗雄 議員

問

子育て支援医療助成制度
で高校まで医療費無料化を

答 町長

厳しい財政状況であり、
検討を重ねたい。

問

多子世帯の経済的負担軽
減のため保育料を2人目半
額、3人目以降は無料に。

答 町長

3人目以降は無条件に保
育料を無料に拡大してい
く。保育料の2人目の
半額は少し検討し、い
ろんな会議で議論した
い。

答

町長

観光の受け入れ体制の整
備等により宿泊人数の増
加。ツアアの増加、和東茶
カフェへの来館者の増加と
共に売り上げの増加につな
がった。

問

雇用創出と人材育成の成
果は。

答 農村振興課長

ビジネススキルの基礎研
修で茶源郷和東ビジネスカ
レッジを開催。年間30講座
で130回開催。230人
の受講者があり、140名
の方が雇用される。

問

観光事業の創出と波及効
果は。

答 農村振興課長

和東茶カフェの設置、
ガイド育成、農家の民泊、
ワーキングホリデーの受け
入れ態勢の整備で民間ステ
イが増えている。また、和
東茶カフェやツアアの受け
入れが年々増加している。

問

野菜の産直事業は。

答 農村振興課長

毎週日曜日、朝市を開
催。お茶に代わる第2の農
業で新規就農者の確保と雇
用の拡大を目的に葉物野菜
の生産体制の確立とハーブ
栽培等の実施も行ってい
る。

問

特産品の開発状況は。

答 農村振興課長

和東茶ブランド化事業は
ホテル、高級レストラン、

デパート等で実施。お茶マ
スタード、茶そば、ほうじ
茶石鹸等が開発され、茶文
化体験ツアーも一つの特産
品として実施した。

問

林業の6次産業化は。

答 農村振興課長

森の探検隊等が組織さ
れ、地主から土地を借り自
然環境保全事業、間伐材を
活用した商品開発等のワー
クショップの開催等をして
いる。

問

雇用促進協議会以降の新
たな取組の検討内容は。

答 町長

交流人口25万人の目標を
達成するため、観光産業の
促進を柱に雇用の場の拡大
等を中心に事業の推進を図
るべく今ある資源を活用
し、住民が望む雇用のあり
方を検討している。新たな
形の事業採択に向けて取組
んでまいりたい。



給食を食べる保育園児

雇用促進協議会の8
年間の総括と成果に
ついて

問

雇用促進協議会の事
業総括は。

問

女性が輝き活躍
できるまちを

答

女性との協働は必要



町制施行60周年記念「第1回女性議会」

問

町制施行60周年を記念して開催された女性議会の成果は。

答 町長

女性の声を聴くことによりまちづくりが発展する。

今後のまちづくりに活かしたい。2回、3回と継続できれば、もっとまちづくりが活発化する。有意義で画期的な議会であったと受け止めている。

問

女性の人材発掘や育成をサポートすること、女性の活躍・推進に対する考えは。

答 町長

まちづくりびと交流サロンの中で進めたい。

問

婦人会組織が崩壊し20年以上になる。本町での男女共同参



竹内きみ代 議員

画についての相談窓口は福祉課では。

答 町長

全ての課で取組む。

問

第1回女性議会開催の12月3日を「和東町男女共同参画の日」に制定しては。

答 町長

女性が輝けば町は元気になることから、今後、内部で検討して行きたい。

問

国では、指導的地位に占める女性の割合を2020年迄に30%の目標を示しているが、執行機関における委員会、審議会、管理職等に占める割合と目標は。

答 総務課長

執行機関における委員総数59名中、女性委員は15名で25・4%となっている。第4次総合計画における数値目標は、平成27年度までに50%となっており、現在厳しい状況である。管理職の女性割合は、12名中、2名で16・7%となっている。

問

女性職員採用についての考えは。

答 町長

現在、職員79名中、女性は34名であり、この10年間は女性採用が多くなっている。これからもこうした力を借りてまちづくりを推進していきたい。

地方創生でまちおこしを

問

地方創生に向け、課題を明確に示しプロジェクトチームを組み検討する必要があるのでは。

答 町長

基本的には、今迄取組んで来た内容を充実



第1回女性議会に参加した人達

問

まちのイメージをブランド化することが非常に大事であるとともに、歴史を物語風にするにより魅力が湧くのでは。

答 町長

お茶の京都として、物語風にするのが一番重要と考えており、観光やまちづくりの原動力にしていきたい。



間伐作業

問

有害鳥獣対策に
短期・中長期の取組を

答

地域と一体となり
有効な対策・事業をすすめたい

問

常駐のパトロール隊の設置を

答

農村振興課長
設置を検討している。

答

農村振興課長

捕獲数の確保や販路の問題もあり事業展開は困難。国の指針も受け検討する必要がある。

問

食肉加工の事業展開の検討を

問

林業再興へ取組み強化を

農村振興課長

企業と連携し間伐材の搬出・市場搬入を行ったが国内産材の価格低迷で採算ベースに乗らない。

問

林業の担い手養成

農村振興課長

林業大学校も活用



岡本 正意 議員

し、後継者を育てたいが雇用の受入れ確保が困難。

問

町の責任で一定数の人員を配置し、体制強化を図るべきではないか。

町長

森林組合強化へ大学校派遣の募集をしたが応募がなかった。森林組合を木津川・相楽郡内で一本化する中で人員を確保しようとの話もある。

シルバー人材センターの設立を

問

相楽東部地域での設立に向けた検討状況は？

町長

3町村で設立する方向で今後も努力する

問

府内で未設立は井手町と相楽東部のみ。目途をもって早期に設立を

福祉課長

3町村の課長会議で引き続き検討していく

住宅リフォーム助成制度の実施を

問

実施自治体では大きな経済効果をあげており本町でも実施を

町長

もう少し検討が必要。今は具体的な考えはない。

問

遅れている下水道接続にも活用できる。経済効果は抜群で期間限定でも実施する価値はあるのでは。

町長

長い目で見れば効果が発揮されると思うが、財政健全化との関係で手が出ない。今後も十分考えたい。

安心できる国保へ改善を

問

国保税引下げ、条例減免の実施を

税住民課長

財政が厳しく難しい

問

条例減免は被保険者の権利であり適用のために制度整備するのは当然の事。すぐに実施を。

町長

災害が発生した場合は実施している。

問

国保広域化で事業が改善する根拠は。

町長

和東町は医療費が低いのに拠出金が多いため保険税が高くなる。運営を一本化する中で高い保険税を下げられると考え、広域化推進の立場をとっている。

問

二〇二五年には団塊世代が
後期高齢層に達するが対策は

答

まちづくり全体の問題、
課題として考える

問

未曾有の高齢化と人口減少が避けられないが。

答 町長

和東町まち・ひと・しごと創生戦略の検討策定に取り組んでいきたい。

問

少子化問題に早く処方箋を。どのようにマネージメントするのか。

答 町長

子ども・子育ての問題というような限定的な問題でなく、地域住民皆の地域福祉の問題として捉え、検討していく。

問

介護予防・認知症ケア・地域ケアの推進で次期福祉計画に今後の課題と互助の取り組みについて。

答 町長

審議会において現



ころばん塾(老人福祉センター)



岡田 泰正 議員

問

各種団体の相互援助活動による要支援・要介護状態にならないための予防、悪化防止のための連携は。

答 福祉課長

全高齢者を対象とした基本チェックリスト、生活元気度チェックを実施し、要介護状態になる恐れの高い対象者の把握に努めて、ころばん塾等で介護予防を実施している。

中山間地域の農業振興

施策

問

茶業の規模拡大、コスト削減には限界があり、農地の条件に恵まれず条件不利地域における茶業の将来ビジョンとそれを支援するための施策は

答 町長

世界文化遺産登録を目指すためにも、美しい山なり茶畑景観の維持管理を継続していくことが重要である。景観を活用した交流促進が生まれる体制整備、生産対策の創設、高級

茶の継承対策の創設、ブランドینگ対策、最先端茶園管理技術の開発を進めていきたい。

問

農道整備(拡幅・舗装)の財政支援の考えは

答 町長

茶畑の大半が傾斜地である事から茶業経営を進めるうえで農道の拡幅や担い手の確保が必要と考え、そのための対策検討を進めた。

答 農村振興課長

農地整備、舗装は中山間地域整備交付金事業、多面的機能の事業、命の里事業対応がある。お茶の京都の推進と茶畑景観を守っていくための対策として基盤整備、農道の拡幅等の支援を積極的に考えている。



茶畑へ続く農道

議員研修

特産品のネット通販や
定住化対策等を視察

11月5・6日の2日間、兵庫県多可町と徳島県那賀町を視察研修しました。

多可町は、平成17年に3町が合併した新町のため、インターネット通販と「婚活（結婚活動）」事業で知名度アップと町民の一体感を育み、自ら町を見直す契機にされました。

同町ではこれまで地元産品の販売は町内中心でしたが、来客数に限りがあるため、平成24年12月から「ネット通販」に取組み、誰もが手軽に利用しやすい環境を作りあげました。



ネット通販システムを研修(多可町)

また、「婚活」はTBS系列全国放送のお見合い番組を招致し、町民約3000人が協力・参加する中で、官民一体となった大イベントに

発展。これを機に4組が結婚されたとのことでした。

那賀町は、徳島県で一番の「消滅可能性都市」と言われ、人口減少に対して定住化対策や交流人口の増加対策を数々展開されています。

同町は、平成17年3月に5町村が合併し、当時の約11000人が今では約2000人が減少しています。その対策として「那賀町移住交流支援センター」を設置し、移住相談の他、山村留学や体験観光、生活技術体験や「もんでこい」と言われるUターン事業、空き家バンクの設置や地域おこし協力隊と連携しながら町おこしに取り組まれています。

観光面では、観光協会を中心に事業を展開されていますが、施設の老朽化と高齢化・人口流出により抜本的な改革が必要であるとの説明でした。



「もんでこい」Uターン事業の紹介(那賀町)

人事関係

人権擁護委員に岡橋聖舟氏（大字別所）を推薦
人権擁護委員3人のうち1人が任期満了となり、委員推薦に際し議会に諮問されたもの。（再任）

固定資産評価審査委員会委員に藤田勝美氏（大字園）に同意

固定資産評価審査委員会委員3人のうち1人が任期満了となり、委員選任に際し議会の同意を得たもの。

意見書

「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書

提出者 竹内きみ代議員

〈賛成者 9人〉
〈反対者 0人〉

可決

京都府老人医療費助成制度の継続を求める意見書

提出者 岡本 正意議員

〈賛成者 4人〉
〈反対者 5人〉

否決

後期高齢者医療制度の保険料軽減措置廃止に反対する意見書

提案者 岡本 正意議員

〈賛成者 2人〉
〈反対者 7人〉

否決

総務厚生常任委員会

茶源郷まつりに7千人
年々活気を帯びる

委員長 竹内きみ代

11月28日に開催した委員会では、平成26年度の予算執行状況について事務調査を行いました。

総務課では、11月1日、2日の茶源郷まつりは、天候不順にもかかわらず昨年を上回る7000人を超え、テレビやインターネット等の効果もあり他府県からの来場者も多く、年々活気を帯びている。また、11



11月から公開の2次アプリの画面

月16日の町制施行60周年記念式典では、地域や町政の振興等に功労のあった多くの方々に表彰状が授与され、感謝と共に今後のまちづくりへのステップにしたこととした。

地域力推進課では、湯船森林公園内での携帯電話等エリア整備事業が11月に国の交付決定を受け、1月に着工、3月中旬に基地局2カ所が設置される。また、景観計画と景観条例の策定についてはアンケート調査とワークショップを実施、今後計画の素案を本年度末までとし、来年度中に計画を策定、並行して条例化を進め、再来年度の完成を目指すとのことでした。また、11月1日付で京都府のまちの公共員が本町に配属



和東チャンネル(光ボックス)の説明を受ける

され現在、地域力推進課に籍を置き、交流人口や定住人口の拡大、増加する空き家の活用対策等に向けた仕組みづくりに取り組む予定との説明でした。

税住民課では、国民健康保険事業の11月時点での一般医療費総計が昨年度より約700万円増加していることに対して、委員からは特定の病気が原因なのか、分析、検討されたいとの意見がありました。

福祉課では、地域包括ケア総合交付金事業の高齢者見守りサポートが、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者宅を中心に定期的に訪問し、安否確認や日常生活の相談を受けているが、住民

の方や民生委員さんからも好評であり今後、単費になっても継続していきたいとのことでした。同事業で購入された「物忘れ相談プログラム」は、認知症の疑いを簡単にチェックできるもので、現在福祉課の窓口

に設置されており、今後の活用が期待される。

この他、現地調査では光ボックスを委員会室に持ち込み、11月から公開されている2次アプリをプロジェクトを使って視聴しました。

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

公平委員会委員に藤木美能里氏を選任

平成26年11月17日第2回定例会が開かれ、平成25年度一般会計・特別会計決算認定、職員の給与に関する条例の一部改正、平成26年度一般会計補正予算等5議案が可決されました。その他、汲み取り手数料の改定の要望、休日応急診察業務に伴う薬剤師報酬額の改定及び薬剤師の二人制の要望等について報告がありました。

一般・特別会計歳入決算額 5億6773万円
一般・特別会計歳出決算額 5億6404万円

相楽中部消防組合議会

組合議会全員協議会規定の制定

平成26年11月17日第2回定例会が開かれ、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定、消防長及び消防署



湯船地内の耕作放棄地

新規就農者支援では、経営が軌道にのるまでの生活支援や、受入れ先確保等が課題になる。

空き家対策は調査が進行中で、今後は持主へのアンケートを行う。ゴミ減量化では生ごみの堆肥化を進め、収集はステーションが基本だが、高齢化等で困難もあり、登録制の個別収集も検討する。

11月25日に開催した委員会で、担当課から説明を受けた後、各委員から山の家リニューアル、自転車振興計画、空き家対策、ゴミ減量化・個別収集、新規就農支援、有害鳥獣対策、茶価低迷の状況、下水道会計への繰入れと公債費償還の

目途、耕作放棄の原因、大雪対策、町営住宅入居審査委員への運動団体幹部の委嘱、ゴルフ場利用税廃止の動きと対応等の意見が出されました。それに対し担当課からは、山の家リニューアルの内容や自転車振興計画は住民に公開し具体化する。

産業常任委員会

山の家リニューアル等の計画は 住民公開して具体化を

委員長 岡本正意



町内の現状説明を受ける委員

有害鳥獣対策では、引き続き電気柵等の申請を薦め、パトロール隊は目途がたっていない。茶価低迷は、西和東など早摘み地域で影響が大きい実態もあるが、中・東和東では安定傾向も見られ地域差が出ている。下水道事業の公債費償還は35年で、多額の一般会計からの繰入れは、接続率が低い中では今後も繰入れが必要。

耕作放棄の原因は、減反の管理費補助廃止が大きく、高齢化や担い手不足が深刻であり対策が必要。

大雪対策は、昨冬、融雪剤の調達で一部混乱した事も踏まえ万全を期す。

長の資格を定める条例の制定、職員の給与に関する条例の一部改正、平成26年度一般会計補正予算等4議案が可決されました。その他、組合議会全員協議会規定の制定、救急活動規定の一部改正等について報告がありました。

一般会計歳入決算額 17億 163万円
一般会計歳出決算額 16億6747万円

相楽東部広域連合議会

相楽東部クリーンセンター稼働期限迫る

平成26年12月1日第3回定例会が開かれ、平成25年度一般会計決算認定、相楽東部広域連合第2次広域計画の変更、いじめ防止等対策委員会設置条例の制定、いじめ調査委員会設置条例の制定、東部クリーンセンターのテールアルメ裁判の資料作成費等の平成26年度一般会計補正予算は全て可決されました。

その他、東部3町村の図書室の現状、いじめの問題、相楽東部クリーンセンターの今後等について一般質問がありました。

一般会計歳入決算額 75億2975万円
一般会計歳出決算額 73億7036万円

町営住宅入居審査委員会への運動団体幹部の委嘱見直しは今後検討したい。

ゴルフ場利用税廃止の動きに対しては、廃止反対で運動している等の説明がありました。

午後からは、湯船地域と柚田地域の耕作放棄地の現地視察を行い、再開した委員会では、雇用促進協議会

より、この間の活動報告があり、成果や課題について説明がありました。

まちの
“元気”を
訪ねて

設立35周年の和東卓球クラブ。 多くの参加を求めます。

「卓球クラブ」

今回はB&G海洋センターで練習されている卓球クラブを紹介します。

Q いつから活動されていますか。
A 35年前から。旧和東町体育振興会発足時からです。

Q 現在、会員は何人おられますか。
A 8人で、年会費2千円で運営しています。

Q 普段はどのような活動をされていますか。
A 気取らず自由な気持ちで練習をしています。

Q 主な練習場所は。
A 和東B&G海洋センターで毎週金曜日夜8時から10時まで、月4回です。

Q 卓球の魅力や楽しさは。
A 年齢に関係なく、少人数で出来、又、健康維持のためです。



練習場所はB&Gの2階です



卓球クラブの皆さん（あいにく取材の日は3人でした）

Q 大会などは参加されていますか。
A 以前は郡大会等にも参加していましたが、最近は人数が少ないので出場はしていません。

Q 卓球にかける今後の目標や思いは。
A 多くの方に参加をしてもらい活気のあるクラブにしたいです。今後は郡大会へも参加したいです。

卓球クラブの問い合わせ先

代表 久保 典子
TEL. 0774-178-2678

第1回定例会は、3月9日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

編集後記

立春を迎え、もうすぐまで春が近づいているような気がする昨今です。昨年5月に民間の有識者会議が、人口減少による自治体消滅の可能性を指摘し波紋を広げました。

自治体の消滅ばかりが危機感を持って伝えられていますが、最も大切なのは地方創生の担い手である「人」に光を当てることではないでしょうか。

根本は、いま住んでいる地域で人々が、しっかりと人生設計ができること。そのために医療や介護、教育など必要な行政サービスが整い、安定した仕事があつて子どもを産んで育てていける。そういう「人」を真ん中に考えていくことに議会としても関わっていかねばならないと考えています。

みなさまのご意見など聞かせていただければ幸いです。

広報編集委員会

- 委員長 岩崎宗雄
- 副委員長 岡田泰正
- 委員 山口勝己
- 委員 山内きみ代
- 委員 竹内幸
- 委員 籠島孝幸